KAIKE PRESS

皆生温泉のこれからを伝えるメディア
「カイケプレス」

2024Jan. 22

第22号／令和6年1月発行

特集

毎月第一水曜 スイッチ広場

場所の使い方や、人の考え方や…

色んなものを切り替えて、もっと楽しい皆生温泉へ

akippa
予約で確実! 便利!!
エリア内100台以上!!!
皆生温泉で遊ぶなら駐車場はアキッパ!!

遅くなりましたがあけましておめでとうございます。本年もカイケプレスをよろしくお願い申し上げます。昨年も皆生温泉では、様々なまちづくりに関するワークショップやスクールが開催されたり、海沿い遊歩道の夜間照明が刷新されたり、ぐるぐるかいけも開催回数を増やし新たな観点の実験に取り組んだり、様々な取組が行なわれてきました。

そんな中、皆生温泉エリア経営実行委員会発足当初から、絶え間なく、毎月開催している取組が『水一(スイッチ)広場』です。毎月第一水曜、実行委員会の定例会開催後の夕方5:30頃から開催していて、皆生温泉に関わる様々な方が自由に参加しています。とっても気軽な井戸端会議の場で、まちづくりについて語り合ったり、近況を報告しあったり、情報交換したり、参加する目的はなんでもOKです。

あったかいおでんにはついつい引き寄せられますね(^^

2024年1月10日(水)には、今年1回目となる水一広場を開催。この日は、年末に新しく誕生した四条通松林前のベンチのお披露目を兼ね、寒い時期の屋外でも楽しく過ごせるようなコンテンツで松林の使い方をスイッチし交流する企画としました。あいにく天候が悪く観光センター内での開催となりましたが、寒さを楽しく過ごすためのコンテンツはセンター内でも大活躍。おでん・とん汁・日本酒といった三者三様の屋台に、自治会の方や近所の方、通りがかりの方も引き寄せられ、新たな交流も生まれる場となりました。今年のまちの動きの予定や、最近の困りごと、ご近所の様子など様々な会話があり、中には「○○のあたりの街灯が最近暗いようだけど切れてるんだろうか?」といった日々の暮らしに関わる情報交換も出てくるようになりました。

元々、水一広場は、「あまり有効に使われていないもったいない場所(空きスペースなど)をスイッチ(新しい使い方)してみてよりよい使い方に繋げよう」という試みや、「そういった使い方の実験や交流を通してまちに関わる自分たちやみんなの意識をよりよいものへスイッチしていこう」という様々な想いを込めて開催しはじめたものです。当初は実行委員会関係者や事業者が参加の中心でしたが、毎月毎月開催するうちに、どんどん気軽に様々な方が参加できる『場』になってきました。

新しい発見や取引につながったりすることがあるのもおもしろい

水一広場は、もっともっと楽しい皆生を目指して、もっともっと気軽に皆生を語る場を目指していきます。毎月第一水曜、夕方5時半ごろから夜8時頃まで、皆生温泉内で場所を変えながら基本は屋外ですが、天候が悪い時や取組によっては、今回のように観光センターで開催しています。この観光センターも、リノベーションされていくかも!?なので、ますます楽しくなりますよ♪まずは一度ふらっとお越しください。毎月の場所や内容はHPやSNSで!!

これまで開催した水一広場。形もメンバーもさまざま。

きてみてカイケ

2023年ぐるぐるかいけの集大成!!

3月9日［土］・10日［日］ 10:00〜15:00
会場:皆生温泉エリア全域

過去2年にわたり開催してきた大きいぐるぐるかいけに、今年実験してみたエッセンスが加わりバージョンアップ!
歩いて楽しい皆生のまちをお楽しみください!!

水一広場2月開催! ベンチお披露目会

2月7日［水］ 17:00−20:00

会場:四条通り松林
内容:2月の水一広場は、荒天のため開催延期になっておりました松林前のベンチお披露目会を開催します!皆生の新たなスポットで食べたり飲んだりしながら語り合い、交流を楽しみましょう!

発行／カイケラボ　協力／日本海新聞皆生専売所

本紙に関するお問い合わせは、カイケラボ(kaikelab@gmail.com)まで

隔月連載コラム

「孫さん、ウェルビーイングって何ですか？」

皆生温泉エリアで目指す「ウェルビーイング」。映画製作や即興劇、路上での健康相談など、様々な方法でウェルビーイングを高めるための活動を実践、研究する孫大輔さんに「ウェルビーイング」について連載していただいています。

アレントの「行為」とウェルビーイング

ウェルビーイングには、「心地よい」「ポジティブな状態にある」という状態（ヘドニア）と、「人生の意味」を感じているという状態（エウダイモニア）の2つがあることを以前のコラムで説明しました。「エウダイモニア」としてのウェルビーイングは、アリストテレスが「善き生」として考えた概念です。これについて、さらに深めてみたいと思います。

私たちの生活において「意味」をもたらすものは何なのかについて、深く考えた哲学者にハンナ・アレントがいます。アレントは著書『人間の条件』において「日々繰り返される日常生活ではなく、一度きりの例外的な行為こそが、日常的な関係の本当の意味を開示する」と述べています。つまり、私たちの日常生活に「意味」が生まれるのは、私たちの為す一度きりの例外的な「行為」であると言うのです。これは、どういうことでしょうか。

アレントは人間の活動的営みを「労働」「仕事」「行為」の3つに分類しました。労働（labor）とは、生命維持のための活動（例：食べる、清潔を保つ）であり、仕事（work）とは何かを制作する活動（例：家を作る、法律を作る）です。これらは一人でもできる活動です。一方、「行為（action）」は、複数の人間の間にしか起こらないものであり、人間の社会的活動や言論活動のことを指します。そして、この「行為」は他者との相互関係によってその結果が左右されるという点で、予測不能であるという特徴を持ちます。これは統計学的に捉えられるような集合的な「行動（behavior）」とは異なる概念です。アレントは「行為」こそが、人間を人間たらしめると考えていました。なぜなら、それは自分が「何者であるか」を言葉によって開示したり、新たなことを始めて何かを生み出したりするからです。そして、私たちの行為は、為すたびにそれが唯一無二の、一回きりの出来事であり、その意味での「例外的な出来事」こそが、人生に「意味」を生み出すのだとアレントは考えたのでした。

このように考えると、私たちの「人生の意味」としてのウェルビーイングは、社会的活動や言葉による活動と密接に関連しています。私は、特に「言葉」を大事にしたいと思っています。数字で私たちの活動を捉えてしまうと、容易に効率性や生産性に回収されてしまうからです。私たちの行為は、社会の中で行う限り、常に唯一無二の出来事なのであり、それに言葉によって解釈したり、意味づけしたりすることが極めて重要だと考えるのです。

孫大輔家庭医（総合診療医）/
鳥取大学医学部地域医療学講座准教授

エリア経営だより

このコーナーでは、毎月の「皆生温泉エリア経営実行委員会」定例会の内容を一部お伝えしていきます!まだまだ未定のこぼれ話も楽しんでくださいませ!!

《　今回は1月10日（水）13:00から開催された定例会より　》

令和5年度第2回ぺちゃくちゃかいけ&令和5年度活動報告会開催について

写真は前回のぺちゃくちゃかいけ。

令和3年度からワークショップを通じ、住民・事業者の居心地いい空間についてコミュニケーションを実施してきました。令和5年8月に実施した『ぺちゃくちゃかいけ』では、ソフトの活動がどんどん活発化する中、居心地のよい空間整備も重要であることを確認しました。以降も、みんながイメージする将来の街並みを、妄想模型が様々なアイデアを受けて更新されてきた過程を共有しながら、街並み検討が続いています。令和6年3月20 日のぺちゃくちゃかいけ&報告会では、将来、民間・行政が空間整備を実施する際の拠り所となる街並みデザイン・妄想模型の完成型を報告・共有や、皆生温泉エリア経営実行委員会の令和5年度の活動の報告をします。ぜひぜひご参加ください!!

[開催日]3月20日（木祝）
[時間]10:00～12:00ぺちゃくちゃかいけ、13:00～15:00活動報告会
[場所]米子市観光センター
★開催時間の途中からフラッとお入り頂いてもOKです（^^♪ぜひぜひお気軽に!!

連載インタビュー

カイケを動かす人

皆生温泉エリアで活躍する様々な人へインタビューをしています。
今月は、
「法勝寺焼 皆生窯」
3代目 安藤青磁さん
にご協力いただきました!!

Q:まず初めに、皆生窯がどのように始まったのか、その歴史について教えていただけますか?

安藤さん:法勝寺焼皆生窯（ほっしょうじやきかいけがま）は、昭和36年に法勝寺焼松花窯（しょうかがま）　二代目の安藤嘉章氏が皆生温泉の地に、松花窯の脇窯として登り窯を築いたのが始まりです。当地に伝わる伝統的な法性寺焼きの技術を受け継ぎ、私は三代目として、その伝統や技術をさらに発展させるべく奮闘しています。

Q:法勝寺焼松花窯の手法を取り入れておられると思いますが、従来の松花窯との違いはありますか?皆生窯ではどのような手法や焼成をされているのか教えてください。

安藤さん:手法や焼成は従来の松花窯と同様ではありますが、独自のアプローチを取り入れ、新しい技法を展開しました。皆生窯の特徴的な点は、地元の素材へのこだわりです。皆生の砂や日野川河口の砂鉄を、粘土や釉薬の中に巧みに取り入れ、これらの素材が焼成の過程で焼き上げられることで…（つづきはwebで）

カイケラボWebで全文をご覧ください